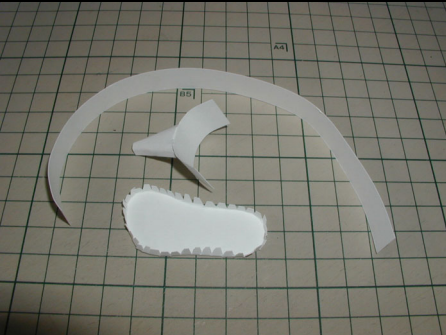
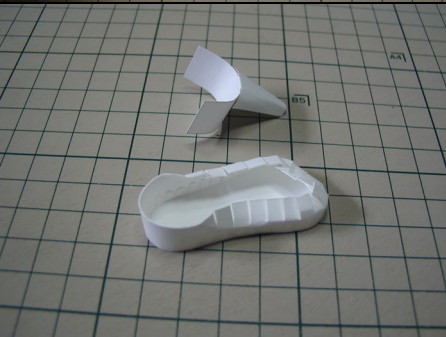






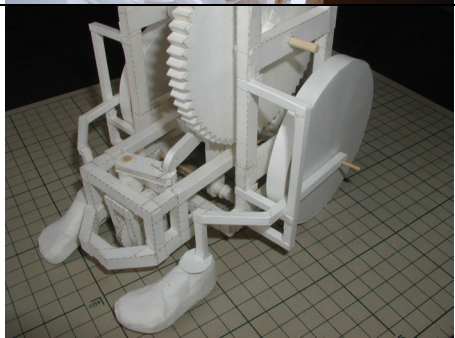
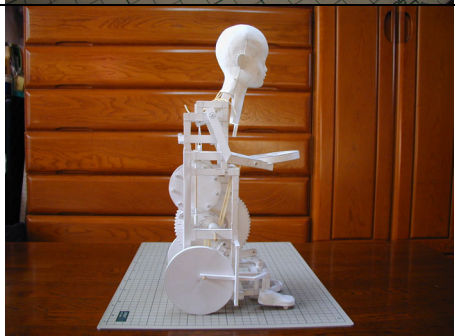


## 17. 足の製作

17-1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 足部の部品、足底、側面板、足の甲を各々切りぬく。</li> </ol>
17-2		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 足底の糊しろ部全周に、側面板を巻くように接着する。</li> <li>2) 足先となる部分の側面板に、3mm間隔で切り込みをいれ、内側に折っていく。このときつま先から足首になる部分に向けて、折り曲げ高さが、徐々に高くなるように折る。</li> </ol>
17-3		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) この折り曲げた部分に、張り子紙をちぎって足型になるように貼っていく。</li> <li>2) 足の甲となる部品を写真のように凸状に折り、足首の部分の側面板の内側に刺し込み接着する。</li> </ol>
17-4		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 足の甲の部品の上に張り子紙をちぎって貼る。</li> <li>2) 足部全体の形を整えるように、張り子紙を貼り重ねていく。</li> <li>3) もう一つの足部を対称に作ります。</li> </ol>
17-5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 足部のリンクとなる部品を切り抜き、4mm角の四角柱を作り、写真のような形を作る。</li> <li>2) 足部にそれぞれリンクを接着固定する。この時リンクと足の方向を合わせるように、実際に車輪部に仮に取付けて確認して固定する。</li> <li>3) 足底に交互動作の際、抵抗が少なくなるようにΦ4mmの円柱をテーパー状部品で接着しておきます。</li> </ol>

## 18. 擬装動作部の組立

18-1		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 首振り用のリンク、リンク固定用の軸受け、カムを各々作る。</li> <li>2) 頭部の首下部に、エリを取り付けるためのプレートを接着し、その裏側に頭部とプレートをまたぐように、首振り用のレバーとなる四角柱を接着固定します。</li> </ol>
18-2		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) リンク回転軸をフレームに通し、リンクがガンギ車側面に当たるように位置を合わせ、リンク両サイドから軸受けで挟み込み軸受けを回転軸に接着固定します。</li> <li>2) ガンギ車側面にカム部品を接着固定します。</li> </ol>
18-3		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 頭部刺し込み用の四角柱の受けをメインフレーム上部中央に接着固定します。</li> <li>2) 頭部を受けに差し込み（接着はしない）、頭部が起き上がる方向にバックテンションのゴムを張ります。</li> <li>3) リンクと頭部レバーを糸で繋ぐ（糸がたるまないように）。この時リンクがガンギ車の側面に接し、なおかつバックテンションが最小となるようにゴムの張りを調整します。</li> </ol>
18-4		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 車輪側面の所定の位置に、足部クランクの回転軸を取り付ける穴を開けΦ2mmの竹ヒゴの回転軸を接着します。</li> <li>2) 反対側の車輪側面に、1)項と同様に180度位相をずらして側部クランクの回転軸を取り付けます。</li> <li>3) 足部クランクを回転軸に差込み、抜け止めの軸受けを接着し、写真のようにクランクバーのガイドとなる、四角柱を取り付けます。</li> </ol>
18-5		<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 首振り動作および、足部のクランクによる交互動作を付加したことにより、動力ゴムへの負荷がかなり増大することになるので、ここで動力ゴムを見直し本数を増やします。ゴムの本数は、実際に走行させてみて最小となるように決めます。この時各擬装動作による負荷をなるべく小さくなるように調整することが重要です。</li> </ol>